

セ タガヤ ボ ン テ ィ ア ネ ツ ト ワ ー ク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発！ ボランティア生活発見マガジン
<https://www.otagaisama.or.jp/>

2021.12 No.212

Setagaya Volunteer Association
世田谷ボランティア協会 40周年

今月のピックアップ

特集●

牟田悌三さんという生き方

まちの市民力！ ●東京で（国）境をこえる
ボランティアビューロー通信～ボランティアだより～



イラストレーション●ぼん
音楽聴きながら絵を描くのが趣味です！
主にファンアートをメインに描いています。

●わたしの世田谷
用賀のいらか道と春の季節に咲く桜並木が好きです。いつ見ても綺麗で、絵になる桜のトンネルです。

●特集

むたていぞう

牟田悌三さんという生き方

1981年に世田谷ボランティア協会が設立されてから、今年で40周年。周年行事はこれまでもその都度何らかの形で行われてきましたが、今年はコロナ禍でかき消された感じでもありました。長年ボランティア協会の理事長であった牟田悌三さんが2009年1月8日に急死されてから14年が経とうとしています。最近、ボランティア協会の職員もどんどん新しくなり、ふと「牟田さんって知ってる?」と訊いてみると、「どなたですか?」という声が……。ならば、この40年の節目の時に牟田さんのことを、と思いつきました。牟田さんて、どんな人?



障害のかきねをはずそう会

1981年くらいに中学二年生だった若者がいます。国際障害者をきつかけにして、世田谷区内の公立中学各校により2名が選ばれ、「障害のかきねをはずそう会」が教育委員会の協力で作られた時、齋藤有司さんは立候補しました。牟田さんは5人のお子さんの学校で父母会の会長を務めたことをきっかけにして地域のボランティア活動を始めました。教育委員会が牟田さんに打診し、「障害のかきねをはずそう会」に出会った牟田さんは運営委員長になりました。「足りていない人たちをささえることによって、自分の足りないところを見つけどそう」というのが基本の考え方でした。

年に5回ほどの全体会があり、各班に分かれ活動。等々力の青少年の家でのバーベキューをし、育っていったリーダーが支え、当時、千歳船橋にあった世田谷ボラ

ンティア協会でも集会がおこなわれました。「障害のかきねをはずそう会」の活動を経て、齋藤さんは中学三年のころからボラセンに行くようになっていました。

牟田さんは、「ケンちゃん」シリーズなどで人気の俳優さん。40年前の社会って、たとえば金八先生。妊娠してしまう杉田かおるさんのお父さん役が牟田さんでした。校内暴力事件が起こる真っただ中でした。齋藤さんは、「障害のかきねをはずそう会」には10年間、その後もボランティア活動に加わり、障害者の完全参加と平等を目指して、活動をつづけました。「障害のかきねをはずそう会」の全体会の場に牟田さんは必ずいたといえます。

ボランティア協会ができた

一方で、1981年10月はボランティア協会が設立された年でした。協会の会誌「ぼらんていあ」

創刊号は翌年の2月です。当時の大場啓三^{おいはら}二世田谷区長が巻頭で区内でのボランティアの始動を祝す言葉を述べています。行政と民間活動団体との「協働」で生まれた協会は、全国でも数少なく、住民の社会参加のためのボランティアサービスマンとして注目を集めました。初代理事長は中田幸子^{なかたさちこ}さん。牟田さんは「障害のかきねをはずそう会」の運営委員長としてこなふうに書いています。

「協会が出来、センターが出来た。いろんな利用の仕方があるだ



1981年「障害のかきねをはずそう会」体験発表会での牟田さん

ろう。いろんな情報が得られるだろう。でもこのセンターがボランティア仲間への心の故郷にならなければ意味は薄い。そしてあらゆるボランティア事業も、民間サイドで火をつけ盛り上がったところに行政が後押ししていく形でないこと継続していくものである。

この3年前には羽根木プレーパークが、住民やボランティアの学生の熱意、行政の理解、協力を得てオープンしました。時を同じくして、その後のボランティアや子どもたちのこれから見据えていくような動きが区内のあちこちで沸々起こってきたような時期でした。

1985年、協会理事長の中田さんが55歳で亡くなりました。告別式には1500人を超える方が集まり、別れを惜しんだと言います。そこで牟田さんに理事長の役が回ってきました。牟田さんは「忘れもしない、新橋演舞場で『お富与三郎』の中の『こうもり安』と

いう役で出ていた時が理事会だった。出られなかった欠席裁判で、理事長になれど。そういわれてもねえ。どうせお飾りだろうと引き受けたんです」と語っています。が、お飾りなんてとんでもない。2003年に「ご隠居さん」になるまで、22年間現役は続きました。いや、周りは誰も辞めさせなかつたと思います。

牟田さんのさまざまアイディア

1991年、協会は10周年を迎えました。11月に行われた記念式典には380名が集まりました。手づくりの絆を作り続けていくための「媒介」としてのボランティア協会の存在は、これからの社会のあり方にとって先駆的なものであったはず。ちなみに10周年記念の「ぼらんでいあ」の特集は「子どもの権利条約」でした。国連採択二周年に向けて、永井憲一^{ながいけんいち}さんが書かれています。永井さん

は牟田さんの後任として「世田谷ボランティア協会をささえる会」の会長を昨年まで勤めて頂きました。協会の中の活動の柱として「子どもの人権」の大切さが位置づけられていたのも、協会にとっては大きなことでした。

牟田さんがアイデアを出した企画はいろいろありますが、1993年の10月、「お父さんパワー、今が見せどき」を協会が行ったのも、牟田さんの力。「お父さんパワー」が浸透していなかった日本の社会で、「お父さん、出番ですよ！」と声をかけ、仕掛けをつくり、その活躍の様子をカメラやビデオで撮影し、協会で活用してきました。また、企業人ボランティアの方にボランティアセンターで顔を合わせていたことも懐かしく思い出します。

協会が社会福祉法人に

15周年目の1996年、協会は

社会福祉法人を取得しました。これまで人と人をつなぐソフト面では少なからず実績をあげてきた協会が、今度は障害者のデイサービスに挑戦することになったのです。市民活動推進部と福祉部の両輪です。1996年11月、福祉のデイサービス「ふらっと船橋」が千歳船橋に開所し、活動もどんどん広がっていきます。社会福祉法人となつてから、牟田さんは「ぼらんていあ」に「牟田爺のつぶやき」を始め、2005年3月に100回を迎えるまで続きました。

2001年11月には協会の20周年を祝いました。協会の飛躍的な活動をお披露目する意味も込め、2日間のプログラムを作りました。「ボランティアフォーラムせたがや発21」がそれです。11月17日には北沢タウンホール、キャロットタワー、総合福祉センターなどでボランティア活動を紹介。18日は全員集合プログラム「ボラ

ンティアと言つても、いささか広うござんす」を開催し、「むた爺のおたがいさまカフェ本日開店」や、牟田さんを中心に、松本の神宮寺住職の高橋卓志さん、女優の高田敏江さんなどが昭和女子大のグリーンホールで軽妙なトークショー等を繰り広げました。

お互いさま宣言

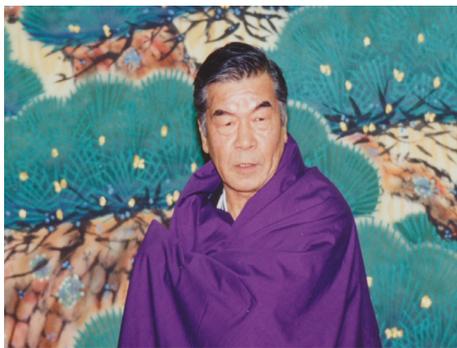
丘の上から眺めると
人々はみんな同じに見える
丘をおりて人々の間を歩くと
みんな違う顔をして、
心の中も違うんだ
その違いを
感じ合ったり認め合ったりするが
人間の面白さじゃね、か
お互い他人の出来ばいことをする
或るとさ、はあけたり
或るとさ、はもらったり
そんな信頼出来るお互い、にほろりか
昔かうあるお互い、さま
そんな社会をめぐると、
ボランティアでばい、
「まて、まて、い、い、ん、だ、つて
お互いさまじゃん」

牟田博三

牟田さんによる「お互いさま宣言」は世田谷ボランティア協会の柱になっています。

チャイルドラインを生み出す

1995年に牟田さんは中央教育委員会の専門委員に任じられました。その機会に子どもたちの現場のヒヤリングをおこなおうと、世田谷で子どもたちの現場を持つ人たちに話を訊きました。それがきっかけとなって、「世田谷こどもいのちのネットワーク」が「いじめよとまれ！」という一連のシンポジウムを開催し、牟田さんを



2001年11月世田谷ボランティア協会20周年の舞台上で演じる牟田さん

含む5人のせたがや仲間がイギリスのチャイルドラインを訪問したことが、日本での「子どもの専用電話」チャイルドラインの誕生につながったのです。牟田さんはせたがやチャイルドラインの代表でもあり、NPO法人チャイルドライン支援センターの代表でもありました。

牟田さんはこう言います。「活動を通して、子どもに向けるだけでなく、大人同士の人間関係を再生する意識改革が少しでも進めばとなあとわしゃ夢見ておる。大人がかかわらねば子どもは変わらんじゃ。まさに、「大人の生き方が問われている」ということなのですね。

たくさん役割を果たしてきた牟田さんが、2003年1月にボラ協理事長の理事長を辞められた後も、唯一役職として続けてきたのが、「チャイルドライン」です。子どものことは、最後まで大切にされていました。

2008年10月4日、牟田さんの80歳のお誕生日をキャロットタワーで祝いました。傘寿のお祝いに私たちは傘をプレゼントし、牟田さんは傘をさして練り歩きました。そしてその三か月後2009年1月に突然天に召されたのです。

かつて「障害のかきねをはずそう会」で中学生として地域デビューした齋藤有司さん。牟田さんは仲人を務めてくれました。ボランティアセンターに足しげく通い、ほぼ40年経った今は世田谷区内の脳性まひの方を中心にヘルパーの派遣をしています。途中10年間は民間企業にいましたが、やっぱり元の道に戻りました。

「牟田さんと中学生の時に出会わなかったら、絶対にこの道は歩まなかったでしょうね。そこから無限のボランティアのつながりが生まれました。」

(文責／編集委員 星野 弥生)
(写真提供／齋藤 有司)

■牟田三さんの主な著書

『大事なことは、ボランティアで教わった』(リヨン社)
『むた爺のつぶやき』(文藝春秋)

国境を越えて違いを楽しもう
東京で(国)境をこえる



まちの 市民力!!

取材・市川 徹

●
街の中で地域やそこで暮らす
人たちが一緒に活動している
団体を紹介します



kyodo 20_30の活動の様子
経堂アトリエにて

「東京で(国)境をこえる」は、経堂に拠点を置く劇団「sheerf」が実施する(※)アートプロジェクト。東京にも多くの外国人の方が暮らしていますが、出会って話をしたり、一緒にものをつくるような機会がほとんどありません。こうした「東京には見えない壁、(国)境がある」という仮説のもと、日本人と外国人がともに暮らすことの楽しさを広げていきたいというプロジェクトです。

代表の矢野靖人^{やのやすひと}さんは、海外での公演制作の経験が多く、日本では日本人と外国人が分かれて暮らしているのがもつたいたないと、このプロジェクトを立ち上げました。目標は、「経堂」のまちで、

文化・言語などの背景の異なる者同士が、個々の違いを尊重した上で「協働」し、クリエイションを通じて新しい「共同」体をつくることです。

プロジェクトは2019年の秋にスタートし、昨年度から本格的に活動を始めました。参加者は、日本人のほか、日本在住の中国・台湾・ベトナムなどの外国籍の方合わせて約20名。

昨年度は4つのグループに分かれて制作を進めましたが、コロナもあって完成には至らず、今年度は何とか作品づくりをしたいと、オンラインで月に2回、定例会を開催しながら、グループに分かれて制作を進めています。それぞれ

の散歩の記録やまちの人のインタビューなど、内容は考えるきっかけになるものとし、一緒に手を動かすプロセスを重視しています。来年2月に成果発表会を開催する予定だそうです。

矢野さんは、これからの社会を動かす20〜30代の若い世代を応援したいと言います。共同作業を通じて、お互いの個性や人としての魅力、自分とは異なる考えを知る機会になることを期待しているそうです。

将来は、国籍関係なくいろいろな人が用がなくても集えるアトリエを経営につくりたいとのこと。たとえば、ジャカルタの人は宗教・文化も違うけれども、共同作品をつくる際、違うところも尊重し合ってわからないことも含めて楽しんでい、と矢野さんは話します。違いを前提としてそれを大事にして楽しめる関係づくり、それが多様性のある共生社会というのかもしれない。

ボランティアビューロー通信

世田谷ボランティア協会には、世田谷ボランティアセンターの他、梅丘、代田、玉川、砧（準備室）の4つの拠点があり、地域の皆さまのボランティア活動を支えています。それぞれで発行している『ボランティアだより』では、ボランティア活動の紹介やイベントの予定などをお知らせしています。各ビューロー、図書館などの公共施設や商店街などでも入手可能です。ぜひお手に取ってご覧ください！

梅丘ボランティアビューロー

〒154-0022
世田谷区梅丘1-8-9
「梅ヶ丘駅」徒歩約5分
TEL: 03-3420-2520
FAX: 03-3706-2854
E-mail: umebora@otagaisama.or.jp

代田ボランティアビューロー

〒155-0033
世田谷区代田2-20-6
「世田谷代田駅」徒歩約1分
TEL: 03-3419-4545
FAX: 03-3412-3210
E-mail: daitabora@otagaisama.or.jp

玉川ボランティアビューロー

〒158-0094
世田谷区玉川2-1-15
「二子玉川駅」徒歩約5分
TEL: 03-3707-3528
FAX: 03-3708-3058
E-mail: tamabora@otagaisama.or.jp

砧ボランティアビューロー準備室

〒157-0066
世田谷区成城6-3-10
成城六丁目事務所棟1階
「成城学園前駅」徒歩約3分
TEL: 03-6411-4007
FAX: 03-6411-5888
E-mail: kinutabora@otagaisama.or.jp

梅丘ボランティアビューロー
2021年11月
ボランティアだより

いそいそアート「カリ」
11月27日(土)午後2時
3才から100才まで！
参加費：10名(事前にお申し込み)
参加費：700円(材料費)
持ち物：持ち帰り袋(ES5程度)
問合せ・申込先：玉川ボランティアビューロー

クリスマス会
11月20日(土) 13:00-16:00
参加費：100円(お祝い・材料費)
定員：15名(申し込み先着順)
費用：代金引換券(1000円)×11
TEL: 03-3419-4545

玉川ボランティアビューロー
〒158-0094 世田谷区玉川2-1-15
TEL: 03-3707-3528 FAX: 03-3708-3058
E-mail: tamabora@otagaisama.or.jp

梅丘ボランティアビューロー
2021年11月
ボランティアだより

今年はやります！秋のビューローンバザー！
11月12日(金)10:30-15:15
11月13日(土)10:30-15:15
予約開始日時
11月5日(金)10時30分から事務所の予約を受け付け
11月12日(金)10:30-15:15
11月13日(土)10:30-15:15
11月14日(日)10:30-15:15
11月15日(月)10:30-15:15
11月16日(火)10:30-15:15
11月17日(水)10:30-15:15
11月18日(木)10:30-15:15
11月19日(金)10:30-15:15
11月20日(土)10:30-15:15
11月21日(日)10:30-15:15
11月22日(月)10:30-15:15
11月23日(火)10:30-15:15
11月24日(水)10:30-15:15
11月25日(木)10:30-15:15
11月26日(金)10:30-15:15
11月27日(土)10:30-15:15
11月28日(日)10:30-15:15
11月29日(月)10:30-15:15
11月30日(火)10:30-15:15

梅丘ボランティアビューロー
〒155-0033 世田谷区代田2-20-6
TEL: 03-3419-4545 FAX: 03-3412-3210
E-mail: daitabora@otagaisama.or.jp

ご相談ください

個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアをおつなぎする橋渡しをしています。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、人と会ったり、集まったりすることが難しい状況ではあります。困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できる

のかわからないという方は、お電話でご相談ください。
電話でお話ししながら、どんなことができそうか、どんな解決方法があるか、一緒に考えます。
●問合せ/世田谷ボランティアセンター
TEL 5712・5101

個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障害や学習障害の傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合つことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小学生〜高校生の個別の学習支援に取り組みボランティアをお探しして紹介しています。

現在、新型コロナウイルス感染症防止のため、オンラインでの学習支援にも対応しています。勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっています。お気軽にご相談ください。

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 原口
TEL 5712・5101
taraguchi@tagaisana.or.jp

ボランティア求む

東

小学生の下校に
付き添ってくれるボランティア募集

等々力にある児童福祉施設が、小学校低学年の子ども（3人）の下校に付き添ってくれるボランティアを探しています。送迎は施設の職員1名と一緒にいきます。学校のある日は毎日送迎しますが、週一回から、夕方をおねがいしたいです。様々な大人と関わることで、子どもたちの成長につながればと考えています。子どもが好きな方、子どもと関わりたい方など、ご応募お待ちしております。

●日時/月〜金曜日の夕方17時過ぎ（または17時25分）〜18時10分頃まで
●場所/小学校から等々力の施設まで徒歩35分程度
●条件/交通費支給、施設にてボランティア保険に加入
●問合せ/玉川ボランティアビュー
TEL 3707・3528
tamaborae@tagaisana.or.jp

東

土曜日に遊んでくれるお兄さん募集

特別支援学校に通う小学2年生の男の子が、土曜日に一緒に遊んでくれるお兄さんを探しています。元気に外で遊ぶのが好きですが、学校のない土曜日は家で過ごすことが多く、寂しい思いをしています。1カ月に1、2回でもいいので、外で思い切り体を動かしたり、散歩に連れて行ってくれるとうれしいです。お兄さんが大好きな、人懐っこい男の子です。

●日時/土曜日午後（月に1〜2回）
●場所/自宅（等々力）や付近の公園など
●条件/大学生〜30才くらいの男性、交通費支給
●問合せ/玉川ボランティアビュー
TEL 3707・3528
tamaborae@tagaisana.or.jp

④ クッキー作りなどを 手伝って下さるボランティアさん募集

岡本福祉作業ホーム玉堤分場では、障がいのある方が通う就労B型の施設です。メインの活動はクッキー作りで、販売会や行事のお手伝いだけなら助かります。作業内容として、クッキー作り、包装、販売のお手伝いや行事のお手伝いで。無理なく、ご協力いただける作業のみの参加でも構いません。

福祉車両の運転ボランティア募集

障害者や高齢者のお出かけニーズにお応えするために、運転ボランティアの仲間に加わっていただける方を募集しています。デイサービスの送迎と異なり、利用者の行きたいところにお連れする活動です。それを支えて頂ける運転ボランティアが、とても不足しています。あなたの余暇時間の一部をそちらの方々の送迎運転に費やしていただませんか。

⑤ 将棋や手芸、お茶出しなどの お手伝いをしてくださるボランティア募集

上馬5丁目にある高齢者の通所介護施設、ライフタイム上馬デイサービスセンターです。将棋や手芸、お茶出しや、お話しなどして下さるボランティアさんを募集中です！まずはお気軽にお電話でお問い合わせください。

- 日時/月々金曜日9時半〜15時の間でご都合の良い時間
- 場所/岡本福祉作業ホーム玉堤分場(世田谷区玉堤2-3-1)
- 交通/尾山台駅徒歩15分
- 問合せ/世田谷区岡本福祉作業ホーム玉堤分場 担当 上原 TEL 5707-9431 amatumizununkai.jp
- https://zunikai.jp/amatumi

有償スタッフ募集

⑥ 子どもの遊び環境を豊かにする 東小京 プレーパークセタガヤ プレーワーカー募集

『自分の責任で自由に遊ぶ』をモットーにした子どもたちの冒険遊び場「プレーパーク」で、子どもの遊びを活性化させ、子どもの育つ力に貢献する事ができる職業です。

子どもの視点に立った遊び場を、地域住民と一緒に運営しながら、地域コミュニティの一端も担う、新しいタイプの仕事です。子ども関係の仕事の経験の有無は問いません。勤務日数・給与等雇用条件、応募方法などはホームページ

- 日時/2022年4月1日〜2023年3月31日
- 場所/区内4つのプレーパーク
- 交通/小田急線・京王線・田園都市線・東横線など
- 問合せ/認定NPO法人プレーパークセタガヤ プレーパーク 事業事務局 担当 竹中 TEL 3414-4175 sayyou@playpark.jp
- http://playpark.jp/recruit

- 日時/利用者に応じて活動日時が決まります
- 場所/八幡山にある車庫から利用者がりくエーストしたスケジュールで走ります
- 条件/75歳以下の方
- 問合せ/NPO法人世田谷ミニキャブ区民の会 担当 浅岡 TEL 3329-0855 cab@3.dion.ne.jp
- http://setagayamincab.jp/index.html

講座・その他・募集

小 傾聴ボランティア講座 (全5回) @ 砧

この傾聴ボランティア講座は、個人の方と対面で継続的に行う傾聴ボランティア活動のための講座です。話すこと、聴くことを体験学習を通して、グループで考え、感じながら学んでいきます。あなたも、傾聴ボランティア活動への一歩を踏み出してみませんか？

※12月20日(月) 10時から受付
●日時/各日水曜日 13時~16時
1月19日「出会う」
1月26日「ふれあう言葉」態度」
2月2日「気持ちを知る」

小 子育て家庭・不登校に寄り添う 訪問ワーカー養成講座

子育て家庭や不登校のお子さんを支える訪問ワーカーとして活動して下さる方を募集しています。この講座では、子ども・若者・家族をめぐるさまざまな問題(虐待・不登校・いじめ・非行など)や、子どもと関わる上で大切なことについて、講義やグループワークを交えて考えていきます。活動に関心のある方は、どうぞお気軽にご参加ください。

●日時/2022年1月15日(土)

2月16日「価値観の違い」

3月2日「傾聴ボランティアとは」

●場所/成城6丁目事務所棟内

●交通/成城学園前駅徒歩3分

●参加費/8000円

●定員/15名

●条件/全回参加できる方。講座終了後、傾聴ボランティアを始める方。

●問合せ/砧ボランティアビューロー 準備室

TEL 6411・4007

kinutabor@otagaisama.or.jp

13時半~16時半

●場所/喜多見地区会館(世田谷区喜多見8・23・23)

●交通/喜多見駅徒歩3分

●参加費/一般10000円 学生5000円

●申込み/お電話かHPから

●問合せ/NPO法人日本子どもソーシャルワーク協会

担当 波多野・阿知波

TEL 5727・2133

http://www.fjcsww.jp/df/

「まちづくりデイ」一緒に始めませんか? 24時間作戦会議みたいなまちづくりイベント

公益信託世田谷まちづくりファンドは、2022年で設立30年を迎えます。これを記念し、世田谷のまちづくりらしく、「みんなで考える」イベントを開催します! 24時間ぶっ通しで、まちづくりをしていく人たちが話したり聞いたり、まちづくりの現場と中継をつないだり、これからのまちづくりファンドの公開会議をしたり、「まちづくりデイ」の作戦を練ったりするイベントです。詳細はホームページをご覧ください。

●日時/12月3日(金) 19時から4日(土) 19時まで

●参加方法/YouTubeライブ配信と直接話を聴きたい方はZoom(Zoomは事前申し込み)

●問合せ/一般財団法人世田谷トラストまちづくり 担当 江口

TEL 6379・1621

sm_301@setagayam.or.jp

https://www.setagayam.or.jp/trust/fund/application_new.html

ロー2階

●交通/世田谷代田駅西口すぐ

●参加費/300円(お茶代)

●申込み/お電話かメールで。メールの場合は件名に、「12/18 近所カフェ参加希望」とし、本文にお名前と電話番号を明記して下さい。

※事前申し込み制です。

●問合せ/代田ボランティアビューロー

TEL 3419・4545

databor@otagaisama.or.jp

小 代田ビューロー近所カフェ スペシャル企画 「近所カフェ de クリスマス」

気心の知れた仲間と2年前に結成されたバンド「まわりどうろう(回り灯籠)」によるクリスマスミニライブです。同バンドのオリジナル曲(世田谷に関する楽曲あり)や懐かしの曲とアリスメドレー、そしてクリスマスソング。皆さんからのリクエスト曲にもお応えします。みんなで音楽を聴きながら、プチクリスマス会を楽しみましょう!申し込みの際、お好きな曲をリクエスト下さい。

●日時/12月18日(土) 13時~16時
●場所/代田ボランティアビューロー

せたがやチャイルドライン寄付・ご支援のお願い
子どもをささえる活動をささえてください

①寄付・ご支援のお願い

せたがやチャイルドラインは、18歳までの子どものための電話です。電話を受けるのは研修をうけたボランティアです。

通常はバザーや手づくり品の販売などで活動資金の一部を調達していますが、イベントの中止などにより、活動資金を確保することが難しくなっています。子どもをささえる活動をささえるために、寄付のご協力をお願いいたします。

●郵便振替口座にお願いします。

●口座番号／

00150・8・279963

●加入者名／社会福祉法人世田谷ボランティア協会

※この口座への寄付は所得税の寄付金控除の対象にはなりません。通信欄に「寄付申込書せたがやチャイルドライン」とご記入ください。

②講義集の販売

受け手講座の内容をまとめた講義集『子どもに育ててもらったおとなたち』をメールでご注文いただけます。この講義集は受け手養成講座のテキストでもあり、せたがやチャイルドラインが大切にしている「子どもへのまなざし」がぎゅっと一冊にまとめられています。受け手講座に関心のある方や、子どもとのかかわりに悩む大人の方にもぜひ読んでいただきたい内容となっています。

●価格／1冊1000円（税込）。

お支払いは後日お振込みとなります。（別途送料）

●注文方法／郵送ご希望の方は、「お名前・送付先ご住所・電話番号・冊数」をご記入のうえ、メールでお申し込みください。

●問合せ／せたがやチャイルドライン

TEL 5712・5101
childline@otagaisama.or.jp

毎年恒例！ おいしい干し柿が出来上がりました！

10月30日、31日に「(社福)世田谷ボランティア協会をささえる会」主催で、毎年恒例の干し柿作りを行いました！

はじめて体験した方は縄ない作りに苦戦していましたが、楽しくいい経験ができたとのことでした。

11月中は、センターの外で、冷たい風に揺られながら、うま味を蓄えました。センターでも数量限定ですが、お求め頂きます！



世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058
- 砧ボランティアビューロー準備室 〒157-0066 成城6-3-10 TEL (6411)4007 FAX (6411)5888

●いのちを大切にすると「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋1F TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障がいにとまなう「困った！」を話せるところ●

- 地域障害者相談支援センター ぼーとせたがや 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるね！ 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ！

◆センター&ビューローより

2022年1月新年に「傾聴ボランティア講座」を砧で開催いたします。砧地域にお住まいの方はご参加してみませんか？ 毎回申し込み初日で満員になる講座です。詳細はP.10をご覧ください。

◆ふらっと& withより

アツという間に今年も残りわずかとなりました。今年一年コロナの話題でいっぱいでしたが流行語大賞発表やクリスマスなど、例年と変わらないニュースを見るとホッとします。楽しい年末を送りたいです。

◆結・連より

介助を必要としている人がいます！世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です！

◆チャイルドラインより

寒さが身に染みる季節を迎えました。チャイルドラインでは、活動をまとめたニュースレターと寄付のお願いのレターを配布しますので、ご協力頂ける方は、センターまでご連絡ください！

編集後記

■今月号に牟田悌三さんの特集しましたが、実は私も牟田さんのことをほとんど知らない世代の一人です。先輩上司に聞いたり、インターネットで調べると多くの功績を残された方だとわかり、一度でもいいからお会いしてみたかったなど感じています。牟田さんの著書もあるので、読んでみたいと思います。

■おうち時間を快適に過ごすため、テレビを12年ぶりに買い換えました。ネットにも繋がります。ステイホームに拍車がかかっています（こ）

- 発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03-5712-5101
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ
https://www.otagaisama.or.jp/
- 発行人
横山 康博

